

Automated External Defibrillator

AED を使う理由

日本では、救急車を呼んでから、現場に到着するまでに平均 6 分以上かかるというのが現状です。ところが、心室細動に対する救急処置は、一分一秒を争います。心室細動を起こしてから 3 分以内に AED を使えば蘇生率は 70%ですが、救急車を待って 6 分後に除細動を行っても 35%しか助からないと言われています。したがって、医師や救急救命士だけでなく、現場に居合わせた一般の人が AED を使用することによって、心室細動による突然死から人を救うことができるのです。

*「心室細動」とは、心臓が小刻みにけいれんし、血液を全身に送り出すことができなくなる危険な状態のことをいいます。

どんなときに使うの？

- 呼びかけに対して反応しない
- 呼吸をしていない
- 呼吸はしているが、正常じゃない



直ちに AED を使用！

どこにあるの？



校内二か所に設置しています

保健室入口の廊下

第1体育館入口

AED の使い方

音声メッセージに従います

- ① AED のふたを開ける（電源は自動的に入る）
- ② 「成人」モードになっているかを確認する
（傷病者が小学生以上→成人モード 未就学児→小児モード）



- ③ 電極パッドの保護シートをはがして、装着部位の右胸と左脇腹に貼る

- ④ 心電図の解析を開始してから終了するまでは、傷病者に触れない



- ⑤ 電気ショックは**必要**と判断した場合

電気ショックが行われるため、周囲にいる人に離れるように指示する

→周囲を確認後、音声に従ってショックボタンを押す

（自動でショックを与える機能が付いている場合もあります）

- 電気ショックは**不要**と判断した場合

電極パッドをはがさず、電源は入れたまま、救急隊員に引き継ぐ

こんなときは、どうするの？

救助者が一人で AED が近くにある → いったん離れてでも取りに行きます

そばになくて、探さなければならない → 探さず胸骨圧迫を行います

体が濡れている → 電極パッドを貼る場所だけ拭きます（地面が濡れているのは OK）

必要かどうかわからない → 必要がないときは「電気ショックは必要ありません」という音声流れます